

Hitachi Report for SVF Series / EUR V11

帳票管理 GUI の HTML 化による Flash 版との相違点

株式会社 日立製作所

株式会社 日立製作所
サービスプラットフォーム事業本部
<http://www.hitachi.co.jp/soft/>
© Hitachi, Ltd. 2021, All rights reserved.

はじめに

本ドキュメントは、帳票管理 GUI の画面について、EUR V11 (HTML による実装) と、EUR V10 以前 (Adobe Flash による実装) での画面表示、操作性の違いを説明したものです。帳票管理 GUI の操作や画面表示の差異を確認するためにご利用ください。下記の製品・VRS で説明しております。

[EUR V11]

Hitachi Report for SVF Series / EUR Server Enterprise 11-00

Hitachi Report for SVF Series / EUR Developer 11-00

[EUR V10]

EUR Server Enterprise 10-40

EUR Developer 10-40

更新履歴

2021.7.28 新規作成

商標類

HITACHI は、株式会社 日立製作所の商標または登録商標です。

Adobe は、米国およびその他の国における Adobe 社の登録商標または商標です。

目次

1. メイン画面	3
1.1 メニュー領域	3
1.2 ツリー領域	3
1.2.1 画面構成	3
1.2.2 スプールサーバー一覧	3
1.3 リストビュー領域	3
1.3.1 画面構成	3
1.3.2 一覧表示	3
2.1 [属性参照]画面, [属性変更]画面	4
2.2 [検索条件設定]画面	6
2.4 [ユーザの設定]画面	7
2.5 [指定ページヘジャンプ]ダイアログ ([プレビュー]画面から表示するダイアログ)	7
2.6 [拡大率の指定]ダイアログ ([プレビュー]画面から表示するダイアログ)	7
3. 画面制御の変更	7
3.1 印刷実行時	7
3.2 PDF 取得時	7
3.3 EUR Web Plug-In インストール時 (印刷、プレビュー)	8

1. メイン画面

1.1 メニュー領域

- ・メニューは、左右の矢印キーで選択状態を移動していましたが、[Tab]キーでフォーカスを移動し、[Enter]キーで選択するようになりました。

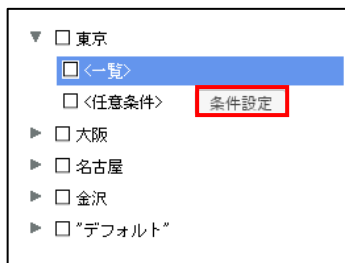
1.2 ツリー領域

1.2.1 画面構成

- ・ツリー領域の横幅は、固定サイズで表示するようになりました。
- ・検索条件をツリー領域下部の表示から、別画面表示に変更しました。

1.2.2 スプールサーバー一覧

- ・[任意条件] をダブルクリックすることで、ツリー領域に検索条件表示を表示していましたが、[任意条件] アイテムの右横に [条件設定] ボタンを提供し、別画面で[検索条件設定]画面を表示するようになりました。



- ・[ユーザの設定]画面で OK ボタンを実行したとき、サーバー情報ツリーの表示状態を初期化せず、状態を維持するようになりました。

1.3 リストビュー領域

1.3.1 画面構成

- ・リストビュー領域最上部に提供していた「帳票」タイトル表示を廃止しました。
- ・属性参照、属性画面をリストビュー領域下部の表示から、別画面表示に変更しました。

1.3.2 一覧表示

(1) [一覧]タブ, [印刷状態確認]タブ 共通

- ・アイテムをマウスで右クリックしたときに、コンテキストメニューで操作できるようになりました。次のメニューを表示します。

[プレビュー...]

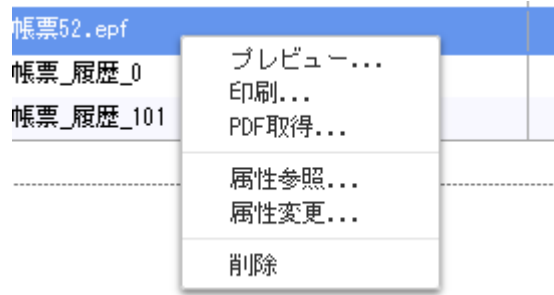
[印刷...]

[PDF 取得...]

[属性参照...]

[属性変更...]

[削除]



- ・表示タブを切り替えたとき、アイテムの選択状態を引き継ぐようになりました。
- ・対象サーバーの切り替え、または一覧の表示条件を変更した場合、一覧のソート順を必ずジョブ ID 昇順に変更していましたが、ソート状態を維持するようになりました。
- ・選択したソート項目で同じ値のデータが存在する場合、第2キーとしてジョブ ID 順に表示するようにしました。
- ・タブにフォーカスがある場合、左右矢印キーの操作でタブの選択状態を変更できるようになりました。
- ・列ごとにリサイズできる最小幅を設定し、各列が見え難くならないようにしました。

2. 別画面（子画面）

2.1 [属性参照]画面, [属性変更]画面

(1) タブ共通

- ・リストビュー領域下部の表示から、別画面表示に変更しました。これに伴い、[印刷状態確認]タブ表示中にも属性を参照、変更できるようになりました。

属性参照、または属性変更画面表示中は、メイン画面の操作はできません。

- ・タブにフォーカスがある場合、左右矢印キーの操作でタブの選択状態を変更できるようになりました。

・Enter キー実行時は、ボタンにフォーカスが位置している場合はそのボタンを、ボタン以外にフォーカスが位置している場合はデフォルトボタンの機能を実行するようになりました。

(2) [履歴]タブ

・列ごとにリサイズできる最小幅を設定し、各列が見え難くならないようにしました。

(3) [ジョブ属性]タブ（[属性変更]画面のみ）

・蓄積期限の入力項目を年・月・日の3項目から年/月/日で指定する1項目に変更しました。

・カレンダーアイコンは廃止し、蓄積期限項目をクリックするとカレンダーを表示するように変更しました。

・カレンダー表示では、年は上下、月は左右の矢印アイコンの操作で指定していましたが、プルダウンメニューによる指定に変更しました。

・入力ボックスの入力値のトリム処理を変更し、先頭または末尾の半角空白、またはタブ文字は、無効とするようになりました。（[属性変更]画面のみ）

[蓄積期限] テキストボックス

[実行回数/上限回数] グループボックス

[印刷] 上限回数テキストボックス

[出力先情報] グループボックス

[プリンタクラス名] テキストボックス、[拠点プリンタ名] テキストボックス、

[拠点トレイ名] テキストボックス、[クライアントプリンタ名] テキストボックス、

[クライアントトレイ名] テキストボックス、

[帳票振り分けグループ名] テキストボックス、

[クライアント IP アドレス] テキストボックス

(4) [検索属性属性]タブ（[属性変更]画面のみ）

・入力ボックスの入力値のトリム処理を変更し、先頭または末尾の半角空白、またはタブ文字は、無効とするようになりました。

[分類] テキストボックス、[値] テキストボックス

2.2 [検索条件設定]画面

- ・ ツリービュー領域下部の表示から、別画面の表示に変更しました。[検索条件設定]画面表示中は、メイン画面の操作はできません。
- ・ [クリア]ボタンは、各行ごとに配置するようにしました。

番号	検索条件	クリア
10	宛先キー値	クリア
11	ジョブ検索キー分類1	クリア
12	ジョブ検索キー値1	クリア
13	ジョブ検索キー分類2	クリア
14	ジョブ検索キー値2	クリア
15	ジョブ検索キー分類3	クリア
16	ジョブ検索キー値3	クリア
17	ジョブ検索キー分類4	クリア
18	ジョブ検索キー値4	クリア
19	ジョブ検索キー分類5	クリア
20	ジョブ検索キー値5	クリア
21	ジョブ検索キー分類6	クリア
22	ジョブ検索キー値6	クリア
23	ジョブ検索キー分類7	クリア
24	ジョブ検索キー値7	クリア
25	ジョブ検索キー分類8	クリア
26	ジョブ検索キー値8	クリア
27	ジョブ検索キー分類9	クリア
28	ジョブ検索キー値9	クリア
29	ジョブ検索キー分類10	クリア
30	ジョブ検索キー値10	クリア

保存 保存して検索実行 全クリア キャンセル

- ・ Enter キー実行時は、ボタンにフォーカスが位置付いている場合はそのボタンを、ボタン以外にフォーカスが位置付いている場合はデフォルトボタンの機能を実行するようになりました。
- ・ 入力ボックスの入力値のトリム処理を変更し、先頭または末尾の半角空白、またはタブ文字は、無効とするようになりました。

ジョブ ID[直接指定]、格納ファイル名[直接指定]、
格納ファイルページ数[最小値][最大値][直接指定]、
作成日時[最小値][最大値][直接指定]、プリンタクラス名[直接指定]、
印刷実行回数[最小値][最大値][直接指定]、印刷日時[最小値][最大値][直接指定]、
宛先キー分類[直接指定]、宛先キー値[直接指定]
ジョブ検索キー分類 1～10[直接指定]、ジョブ検索キー値 1～10[直接指定]、

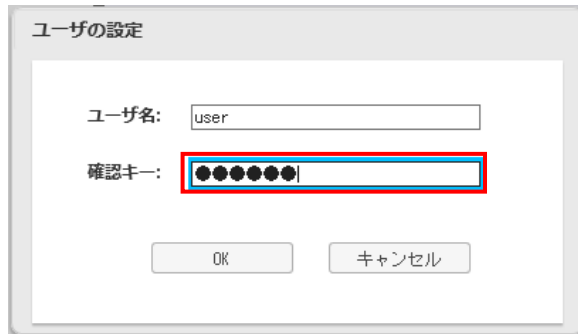
2.3 [印刷]画面

- ・ Enter キー実行時は、ボタンにフォーカスが位置付いている場合はそのボタンを、ボタン以外にフォーカスが位置付いている場合はデフォルトボタンの機能を実行するようになりました。
- ・ 入力ボックスの入力値のトリム処理を変更し、先頭または末尾の半角空白、またはタブ文字は、無効とするようになりました。

[ジョブ指定] 開始、終了 テキストボックス(スプールデータを複数選択している場合)
[ページ指定] 開始ページ、終了ページ テキストボックス

2.4 [ユーザの設定]画面

- ・[確認キー] テキストボックスに入力した値は「●」で表示するようになりました。



- ・指定時の動作を保証しない「|」「,」「#」「&」「+」「¥」、および制御コード (0x00~0x1F, 0x7F~0x9F) は設定できないようにしました。

2.5 [指定ページへジャンプ]ダイアログ ([プレビュー]画面から表示するダイアログ)

- ・Enter キー実行時は、ボタンにフォーカスが位置付いている場合はそのボタンを、ボタン以外にフォーカスが位置付いている場合はデフォルトボタンの機能を実行するようになりました。
- ・入力ボックスの入力値のトリム処理を変更し、先頭または末尾の半角空白、またはタブ文字は、無効とするようになりました。

[ページ番号の入力] テキストボックス

2.6 [拡大率の指定] ダイアログ ([プレビュー]画面から表示するダイアログ)

- ・Enter キー実行時は、ボタンにフォーカスが位置付いている場合はそのボタンを、ボタン以外にフォーカスが位置付いている場合はデフォルトボタンの機能を実行するようになりました。
- ・入力ボックスの入力値のトリム処理を変更し、先頭または末尾の半角空白、またはタブ文字は、無効とするようになりました。

[拡大率指定] テキストボックス

3. 画面制御の変更

3.1 印刷実行時

- ・印刷実行時、[印刷]画面は、印刷開始時に閉じていましたが、印刷完了後に閉じるように変更しました。

印刷中の一覧操作が不可になることで、印刷中のデータを間違えて削除するなどの誤操作を防ぎます。

ただし、サイズの大きな印刷データの場合、印刷実行から次の操作までの待ち時間が長くなりますので、続けて別データを操作したい場合は、帳票管理 GUI 画面を複数起動してください。

3.2 PDF 取得時

- ・PDF 取得時、OS のファイルの保存ダイアログで保存先を指定していましたが、ブラウザ下部の情報通知バーから、ファイルの保存方法を選択する仕様に変更しました。



また、ダウンロードの進捗状況を示すダイアログを表示せず、マウスカーソルを処理中であることを示す表示に変更するようにしました。

3.3 EUR Web Plug-In インストール時 (印刷、プレビュー)

- ・印刷、プレビューの初回実行で、EUR Web Plug-in の実行を許可してインストールが行われる場合、帳票管理 GUI の画面を初期表示状態に戻していましたが、インストール前の操作状態を維持するようにしました。

以上